

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2375300262
事業所名	グループホームはなえくぼ扶桑

【重点項目への取組状況】

重点項目 ①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	職員募集の看板を玄関先に掲示したところ、近隣住民から問い合わせや応募があったり、「困っている人がいるから、連れて行っていいか」の問い合わせがあったりと、地域との密な関係構築がうかがえるエピソードが多数ある。	○
重点項目 ②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	2ヶ月に1回の会議開催を継続している。利用者家族、地域包括支援センター、町職員等、毎回大勢の参加があり、有意義な意見交換の場となっている。今年度はホームの災害避難訓練を運営推進会議の折に行い、会議参加者に訓練に参加してもらい、課題を共有している。	○
重点項目 ③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	地域包括支援センター主催の研修案参加や連携を図った認知症サポーター研修開催等、高齢者介護と認知症理解に、共に取り組む姿勢がある。ホームを会場にした認知症サポーター研修には、近隣住民と家族の参加を得られた。	○
重点項目 ④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	情報提供が意向聴取のポイントであることを理解し、家族会や面会時に日々の様子を伝え、家族から希望・要望の聴き取りをしている。介護記録をそれぞれの家族に提示し、本人の状態を具体的に伝え、共に考える関係を構築している。	○
重点項目 ⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度
総合評価	○	○	○	○	○	

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目2、3、4については1つ以上、外部評価項目6については2つ以上の取り組みがなされ、その事実が確認（記録、写真等）できること。

外部評価項目	確認事項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取り組みを行っている。
3. 運営推進会議を活かした取り組み	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
4. 市町村との連携	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

(注) 要件の確認については、地域密着型サービス外部評価機関の外部評価員が事実確認を行う。